

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

4年1組		指導者	井上 孝弘	教科等	図工				
	単元名等	まどをのぞいて							
単元	目標	評価規準		※どちらかを選択し、 で囲ってください。					
	知識及び技能	知識・技能		○窓の向こうの景色に形や色を重ねるときの感覚や行為を通して、形や色の組み合わせや面と面の重なりによる前後の感じなどがわかるようにする。 【共通(1)ア】 ○色セロハンやお花紙などを適切に扱うとともに、前学年までのセロハンテープなどについての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫して作ることができるようとする。【A(2)ア】					
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現		◆窓の向こうの景色や材料などを基に造形的な活動を思いつき、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するか考えることができるようとする。 【A(1)ア】 ○形や色の組合せや面と面の重なりによる前後の感じなどを基に、自分のイメージをもつことができるようする。【共通(1)イ】 ○材料を組み合わせて様子を変えた窓の向こうの景色などの造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げることができるようする。 【B(1)ア】					
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度		○進んで窓の向こうの景色に形や色を重ねて楽しい様子をつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を想像しようとする。					
単元の学習展開（全9時間）									
導入	<input type="checkbox"/> 初めに、色セロハンを光にかざしたり、色セロハンを通して景色を見たりすることで、学習の見通しをもつ。								
展開	<input type="checkbox"/> 材料の使い方を工夫して、窓から見える景色をつくりかえる。 ・セロハンを切ったり、重ねたりして、窓にはりつける。								
終末	<input type="checkbox"/> 撮った画像を見たり、友だちの作品を見たりして、学習内容を振り返る。								

本時 (7 /全9時間)	ねらい	窓の向こうの景色をつくりえることについて、 景色の中の形や色とセロハンの形や色に着目することによって、 新しい形や色などを思い付きながらどのように活動するか考えができるようする。 【◆思考・判断・表現 タブレット撮影・記述】
	学習過程	「めあて」と『課題』 「窓から見える景色をえてみよう」 『何も考えずに、自分の好きな形や色を窓に張り付ければよいかな。』
	児童に対する手立て	『まとめ』と『振り返り』 『景色の中の形や色、セロハンの形や色を生かして、景色をつくりかえるとよい。』 『山（屋根・道路・煙）の形を生かすと、おもしろい景色に変わったよ。』 『山（空）の色を生かすと、おもしろい景色に変わったよ。』 『セロハンの形や色を変えたり、重ねたりしても景色が変わったよ。』 『見る角度をえるとぴったりになったよ。』
	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】
	何色のセロハンを使うかわからず、作業がとまる。	まどの向こうの景色に何色を貼ってみたいか尋ねる。
	どんな模様、形してよいか、迷ってしまう。	試しに貼ってみることを勧める。貼りなおして、やり直すこともできることを伝える。 ＊窓を使う作業なので、カギを閉め、窓から体等が出ないよう注意する。